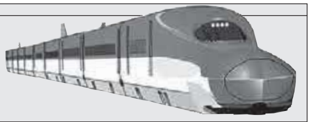
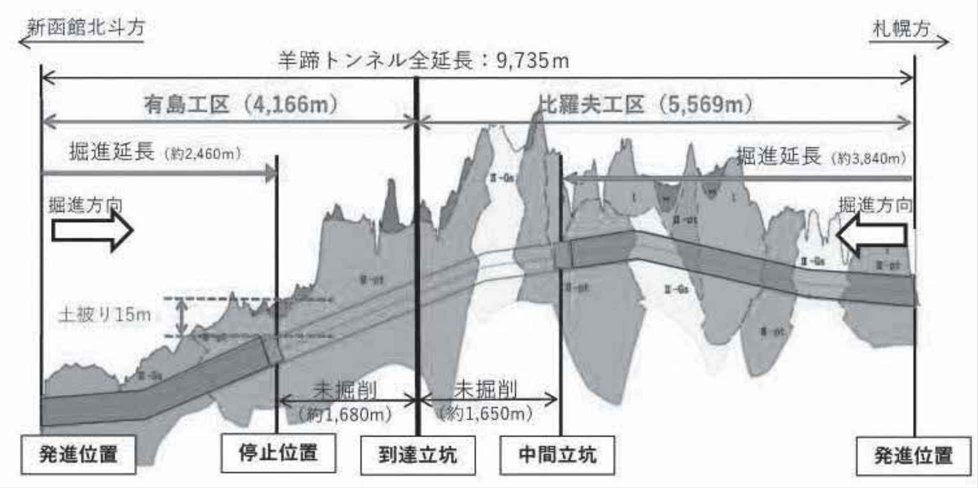
2024年度 北海道新幹線情報

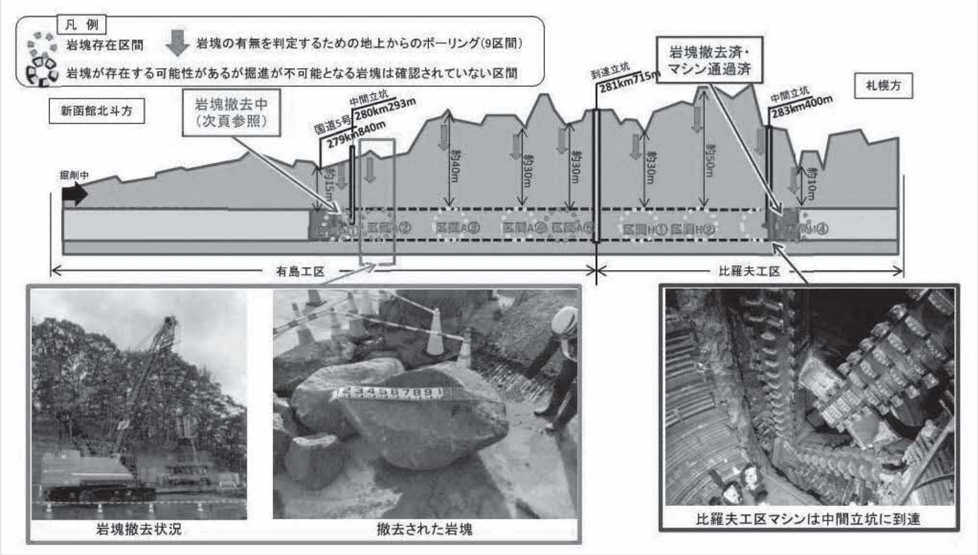


今回は羊蹄トンネル（有島・比羅夫）工区について紹介します

羊蹄トンネルは虻田郡ニセコ町から倶知安町に至る延長9,735mのトンネルで、有島工区（ニセコ町側4,166m）、比羅夫工区（倶知安町側5,569m）の両方向からシールドマシンを用いた※SENSにより掘削を進めています。令和６年10月１日現在、有島工区59％、比羅夫工区69％が掘削されています。

令和４年度に実施した探査の結果、９区間で掘進に影響する可能性のある岩塊の存在が確認され、随時、岩塊の撤去作業を行っております。


新函館北斗方
札幌方
羊蹄トンネル全延長：9,735m
有島工区（4,166m）
比羅夫工区（5,569m）
掘進延長（約2,460m）
掘進延長（約3,840m）
掘進方向
掘進方向
土被り15m
未掘削（約1,680m）
未掘削（約1,650m）
発進位置
停止位置
到達立坑
中間立坑
発進位置


凡例
岩塊存在区間
岩塊の有無を判定するための地上からのボーリング（9区間）
岩塊が存在する可能性があるが掘進が不可能となる岩塊は確認されていない区間
新函館北斗方
札幌方
岩塊撤去中（次頁参照）
岩塊撤去済・マシン通過済
国道5号 279km840m
中間立坑 280km293m
到達立坑 281km715m
中間立坑 283km400m
掘削中
約15m
約40m
約30m
約30m
約30m
約50m
約10m
区間A①
区間A②
区間A③
区間A④
区間A⑤
区間H①
区間H②
区間H④
有島工区
比羅夫工区

岩塊撤去状況

撤去された岩塊

比羅夫工区マシンは中間立坑に到達

※SENS

SENSは鉄道・運輸機構が開発した工法で、密閉型シールド（Shield）により地山を掘削して、シールド掘進と連動してシールドテール部で場所打ちの一次覆工コンクリートを施工し（ECL工法）、地山の変位収束後に二次覆工コンクリートを施工（NATM）する工法（System）です。羊蹄山の裾野を掘削する羊蹄トンネルは、複雑な地層、主に固結度が低くかつ豊富な地下水を有する地山を掘削するため、SENSを採用しました。

（提供：JRTT 鉄道・運輸機構）

（有料広告）

見守りサービス
あんしん ハローライトプラン

1 ご自宅の電球と交換するだけ！ LED電球と通信機能が一体になった〔ハローライト〕が点灯/消灯を前日朝9:00～当日朝8:59の間計測し見守ります。

2 メールでお知らせ！ 電球に点灯/消灯の動きが無い場合、異常を検知して当日朝9:00～朝10:00の間に事前に設定した通知先へメールでお知らせします。

3 訪問確認！ 異常時にも通知先のご依頼に応じてスタッフが設置先を訪問。必要に応じて地域包括センター等の地域の窓口に通報します。

見守られる側、見守る側どちらの安心にも繋がります

お手頃な月額料金
1,078円
※後払い手数料はお客様負担となります。（税込209円）

ご高齢の方
1人暮らしで不安 安心して暮らしたい
もしもの時に備えたい
高額なサービスは使えない

ご家族の方
離れて暮らす親が心配
何かあっても気付けない すぐに訪問できない
毎日電話するのは大変

介護事業者 福祉関連団体の方
人材不足が深刻
コロナの影響で対面での声掛けや見守りが減っている

お申し込み方法
お申込み専用サイトはこちら ⇓
ヤマト運輸株式会社 ネコサポサービスセンター
フリーダイヤル 0120-545425
受付時間9:00-18:00 年中無休（※年末年始を除く）